

千葉市動物公園 マレーバク「サコ」の死亡について

皆様に親しまれてまいりました、当園のマレーバク「サコ」(雌)が死亡しましたので、お知らせします。

1 死亡した動物について

- (1) 動物種 マレーバク 雌 (死亡時年齢10歳)
- (2) 来園 平成22年(2010年) 3月 4日
- (3) 生年月日 平成19年(2007年) 12月12日
多摩動物公園生まれ

2 死亡日時 平成30年4月23日(月) 15時00分頃

3 死因及び経緯

- (1) 死因 腸管内での砂の堆積による腸閉塞
- (2) 経緯 平成30年4月21日(土) 食欲不振、左後足に痛みが出ている様子。
平成30年4月22日(日) 午後は横になってほとんど起立せず。
平成30年4月23日(月) 朝は起立したものの15時頃死亡

4 当園でのマレーバクの飼育状況

昭和63年2月に導入し、同年4月の二次開園より草原ゾーンで展示を開始しました。
今回のサコの死亡により、現在はユメタ(2006年7月26日生まれ、雄)の1頭の飼育となっています。

5 国内でのマレーバクの飼育状況(平成28年12月31日現在)

国内の動物園・水族館での飼育数は雄21頭、雌16頭(今回死亡した「サコ」を含む)で、13施設で飼育。

6 記帳台の設置について

動物科学館に4月26日(木)と4月27日(金)の2日間、記帳台を設置します。
※季節がら献花、供物をご遠慮ください。



マレーバク「サコ」



マレーバク「サコ」

【参考】

マレーバク(奇蹄目バク科)

体長2～2.5m、体高90から105cm、体重250から300kg。

マレーシア、ミャンマー、タイ、スマトラ諸島の森林地帯に生息し、

体色は黒色で背と腰は灰色。

単独で行動し、主に夜間活動する。水辺を好み、泳ぎが上手で水中で糞をすることが多い。草食性で草木の葉や果物を主に食べる。

妊娠期間は約13か月、通常1頭の子どもを出産する。子の模様はウリ坊のような縞模様を持つが、成長と共に親と同じようなツートンカラーに変化する。

ワシントン条約附属書I表、IUCNレッドリスト絶滅危惧(EN)該当。

野生での生息数は2,000頭とされるが、定かではない。

プランテーションによる生息地の減少、ブッシュミートなどによる食圧など、人間の影響により絶滅の危機に瀕している。